

第4期高知県地域福祉支援計画の

8050問題やヤングケアラーなど、縦割りの制度サービスでは解決できない複雑化、複合の進展に伴う人と人との交流機会の減少などにより、地域のつながりや支え合いの力が弱こした課題に対応するため、第4期計画ではこれまで取り組んできた「高知型福祉」

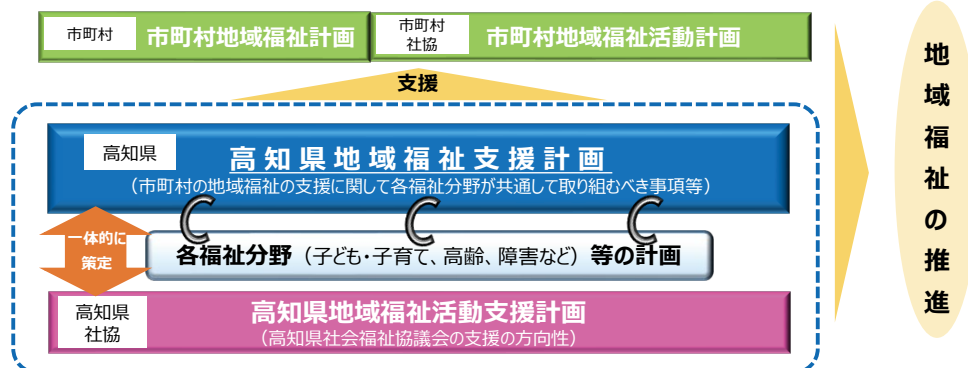
目指す姿

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊

【計画の理念】 誰一人取り残さない、つながり

根拠法令	社会福祉法第108条に基づく法定計画	計画期間	4年間（R6～R9）
計画の位置づけ	- 本県における地域福祉を推進するための基本方針であるとともに、各福祉分野が共通して取り組むべき事項を記載する福祉分野の上位計画。 - 計画の策定に当たっては、「日本一の健康長寿県構想」など関係する計画との整合性をとることによって福祉・保健・医療及び生活関連分野との連携を確保。 - 高知県社会福祉協議会が住民や関係者とともに策定・推進する地域福祉活動支援計画と一体的に策定。		
計画策定の目的	市町村が地域特性や独自性を尊重し、地域住民の皆さんや社会福祉協議会、民生委員・児童委員、民間事業者、NPO、社会福祉団体など多様な主体とともに福祉ニーズや地域生活課題に対応しながら、地域福祉を進める取り組みを支援する。		

＜地域福祉支援計画と他計画との関連＞



＜関連する主な計画と計画期間＞

分野	計画名	R4	R5	R6	R7		
福祉全般	地域福祉支援計画	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R9）			
子ども・子育て	子どもの貧困対策推進計画	現計画（R2～R6）			改定計画（R7～） ※各計画を包含した「こども計画」を策定（終期含めて検討）		
	子ども・子育て支援事業支援計画、次世代育成支援行動計画					現計画（R2～R6）	
	ひとり親家庭等自立促進計画					現計画（H29～R6）	
高齢	高齢者保健福祉計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）			
	介護保険事業支援計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）			
障害	障害者計画	前計画（H25～R4）	現計画（R5～R11）				
	障害福祉計画・障害児福祉計画	現計画（R3～R5）		改定計画（R6～R8）			
	ギャンブル等依存症対策推進計画	現計画（R4～R5）		改定計画（R6～R11） ※一体的に策定			
	アルコール健康障害対策推進計画	現計画（H30～R5）					
その他	自殺対策行動計画	前計画（H29～R4）	現計画（R5～R9）				
	再犯防止推進計画	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R10）			
	中山間地域再興ビジョン	－		新規策定（R6～R9）			
	南海トラフ地震対策行動計画	現計画（R4～R6）			改定計画（R7～R9）		
	教育等の振興に関する施策の大綱	現計画（R2～R5）		改定計画（R6～R9）			

概要（第4期計画の基本事項）

化した課題が顕在化。加えて、少子高齢化や核家族化、コロナ禍を契機としたデジタル化まっている。

を継承・発展させる形で「高知型地域共生社会の実現」をオール高知で取り組む。

かに安心して暮らし続けることのできる高知県



支え合う高知型地域共生社会



高知家地域共生社会シンボルマーク

県民みんながお互いに寄り添い支え合うことで、安心して暮らし続けることができる『高知家地域共生社会』の実現につながることを「こうち」の文字で表現

計画の基本項目

以下の3本柱で、それぞれの取り組みを推進

※第3期は、①地域の実情に応じた地域福祉の推進、②地域福祉を推進する基盤の確保 の2本柱

- ①行政主体の「**高知型地域共生社会**」の実現に向けた包括的な支援体制づくり（「たて糸」の取り組み）」
- ②地域主体の「**高知型地域共生社会**」の実現に向けたつながりを実感できる地域づくり（「よこ糸」の取り組み）」
- ③「**高知型地域共生社会**」を支える人づくり・基盤づくり

改定のポイント

① 誰一人取り残さない、つながり支え合う高知型地域共生社会の実現を基本理念として掲げ、オール高知で地域福祉を推進

- 今後さらに加速する超高齢化社会と少子化の進展や担い手の急減に加えて、顕在化する複合課題と地域のつながりや支え合いの力の弱まりへの対応が必要。
- そのため、これまでの「高知型福祉」の取り組みを継承・発展させる形で「高知型地域共生社会の実現」を分野横断的な政策目標として掲げる。
- オール高知で地域福祉を推進するために、市町村が策定する「地域福祉計画」や高知県社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動支援計画」との整合を図る。

② 日本一の健康長寿県構想の第5期改定と連動し、「目指す姿」を明確に打ち出し、成果にこだわる取り組みを推進

第5期構想

【目指す姿】県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県

柱Ⅰ 健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進

【目指す姿】県民が長く健康でいきいきと元気で暮らし続けている

柱Ⅱ 地域で支え合う医療・福祉・介護サービス提供体制の確立とネットワークの強化

【目指す姿】中山間地域を含め、在宅での生活を希望される方が必要なサービスを受けられる

柱Ⅲ こどもも豊かな社会の実現（子どもたちを守り育てる環境づくりと少子化対策を一体的に推進）

【目指す姿】「共働き、共育て」が定着し、結婚、出産・子育ての希望が叶えられ、「孤」育てを感じさせない社会になっている

柱Ⅳ 「高知型地域共生社会」の推進（分野横断的な柱として位置付け）

【目指す姿】複合課題への対応力と地域の支え合いの力が高まり、孤独を感じる人が減っている

③ 福祉関係計画との一体的な展開や県の基本施策との整合を意識した計画改定

高知県元気な未来創造戦略

【目指すべき高知県像】いきいきと仕事ができる高知 いきいきと生活ができる高知 安全・安心な高知

【戦略の目指す姿】将来を担う若者が、地域地域で魅力のある仕事に就き、いきいきと住み続けられる元気な高知県

【戦略全体を貫く目標（R9）】若年人口（34歳以下）：「若年人口の減少数（前年比）をゼロ」とする

若年人口の減少傾向に、4、5年後までに歯止めをかけ、概ね10年後には現在の水準まで回復させるため、魅力ある仕事をつくり若者の定着・増加につなげるほか、結婚や妊娠・出産、子育ての希望をかなえるための施策を総動員。

高知県中山間地域再興ビジョン

- 10年後の将来ビジョン：居住地における在宅介護サービスの提供100%
- 主要なアクションプランKPI（4年後）：あったかふれあいセンターの利用者数20,000人／年、不足が見込まれる介護職員の充足率100%

④ 社会福祉法人の公益的な取り組みの充実や社会福祉法の改正など、地域福祉を取り巻く環境変化を反映

⑤ 「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を実現するためのSDGsの17の目標と関連づけた施策の推進やデジタル化の進展など、社会経済情勢の変化を反映

【計画の理念】 誰一人取り残さない、

柱Ⅰ 「高知型地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制づくり		
柱Ⅰ	目指す姿 誰一人、制度サービスの狭間に陥ることがないよう、市町村の複合課題への対応力が向上し、各分野で業務効率化が図られている	【主要目標】 ・包括的な支援体制を整備している市町村数
	たて糸 ●県や市町村による公的支援に加え、社会福祉法人や民間企業などが提供する制度サービスも含む取り組み ●各分野の支援プロセスに、①相談支援、②参加支援、③地域づくりに取り組む「包括的な支援体制」を活用	
高齢者・障害者への支援	目指す姿 中山間地域を含め、高齢者が住み慣れた環境で安心して健やかに、ともに支え合いながらいきいきと暮らし続けることができる高知県になっている	【主要目標】 ・要介護3以上の人の在宅率 ・介護サービスが充足していると感じている人の割合 ・中山間地域での在宅介護サービスの提供率
	高知版地域包括ケアシステムの深化・推進 高知型地域共生社会の中核的な基盤 ●核となる地域包括支援センターへの運営支援 ●オンライン診療の中山間地域における体制整備と通いの場での実施 ●福祉・介護職場へのICT導入や生産性向上に関するワンストップ窓口の設置 ●介護事業所の経営の大規模化・協働化の支援	
こどもまんなか社会の実現	目指す姿 障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていける高知県になっている	【主要目標】 ・障害のある人の地域生活の支援体制が整備されている市町村数
	障害の特性等に応じた切れ目ない支援体制の推進 ●市町村における基幹相談支援センターや地域生活支援拠点の整備の推進 ●発達障害の早期発見・早期支援や医療的ケア児への支援力の向上	
生きづらさや困難を抱える人への支援	目指す姿 安心して「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっている 子どもたちが誰一人取り残されず、夢と希望を持って成長できる環境が整っている	【主要目標】 ・安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」ができる社会になっている ・こども家庭センターの設置（統括支援員） ・里親等委託率 ・ひとり親家庭相談支援センターへの相談件数
	安心して妊娠・出産・子育てできる体制づくりの更なる強化 ●こども家庭センターの設置促進による包括的な相談支援体制の整備 ●不妊治療への支援のあり方に関する検討や産後ケア事業の利用促進 厳しい環境にある子どもたちへの支援 ●児童虐待の発生予防、早期発見に向けた相談支援につながる仕組みづくり ●里親支援や社会的養護経験者の自立支援など社会的養育の充実 ●「ひとり親家庭支援センター」による就業支援等の充実	
生きづらさや困難を抱える人への支援	目指す姿 生活困窮者やひきこもりの方など生きづらさを抱える人などが、必要な支援を受け、孤立することがない社会になっている	【主要目標】 ・自立支援計画（プラン）の策定率 ・居場所等の支援につながった件数 ・メンタルヘルスに関する情報発信HPの閲覧件数 ・市町村における女性相談窓口の設置
	生活困窮者への支援 ●生活困窮者の自立相談支援体制の充実・強化 ひきこもりの人等への支援 ●ひきこもりの人やその家族への包括的な支援体制の整備や居場所づくりの推進 自殺予防対策の推進 ●ゲートキーパーの養成研修の拡充と身近な地域で包括的な支援を受けられる体制づくり 様々な困難を抱える女性への支援 ●女性への暴力根絶、性と生殖に関する健康と権利等についての県民意識の醸成 ●女性相談支援センターの機能強化と女性相談支援員等の資質向上	

柱Ⅲ 「高知型地域共生社会」を支える人づくり・基盤づくり		目指す姿	支え合いの
人づくり	目指す姿 多様な人材が支え手となって地域で活躍し、必要な福祉・介護職員が確保されている	福祉教育の推進 ●福祉教育・ボランティア学習の充実に向けたプラットフォーム 福祉・介護人材の確保対策の推進と介護現場の生産性 ●「介護生産性向上総合支援センター（仮称）」の設置にの構築、若い世代に向けた魅力発信を総合的に推進	
基盤づくり	目指す姿 世代や属性を超えて、地域の多様な方が幅広くつながり、支え合う地域資源が整備されている	あったかふれあいセンターの整備と機能強化 高知型 ●「高知方式」の新たな中山間地域介護サービスモデルの その他生活基盤の充実 ●中山間地域の集落機能の維持と支え合い活動 ●住宅セ	

要（目指すべき姿と具体的な方策）

つながり支え合う高知型地域共生社会



柱Ⅱ 「高知型地域共生社会」の実現に向けたつながりを実感できる地域づくり		
目指す姿 地域で孤独を感じることなく、一人ひとりが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることができる高知県になっている		
【主要目標】 ・孤独を感じる人の割合 ・社会活動参加率		
よこ糸 ● 社会福祉法人や民間企業・団体、NPO法人、地域住民等、様々な主体の参画による地域活性化等の取り組み ● 各分野で官民協働の取り組みを進め、オール高知でつながりを実感できる地域づくりを推進		
高齢・障害分野の取り組み	目指す姿 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続け、また、地域を支える一員として元気に活躍できる社会になっている	【主要目標】 ・新規要支援・要介護認定者の平均年齢 ・通いの場への参加率 ・ICTを活用した高齢者見守りネットワークを整備している市町村数
	○ 高齢者が地域でいきいきと暮らし続けられる仕組みづくり ● オンライン介護予防教室の普及展開など、通いの場への参加機会の拡大 ● 「高知方式」の新たな中山間地域介護サービスモデルの試行 ● センサー技術などICTを活用した高齢者の見守り体制の構築支援 ● 地域住民主体のフレイル予防活動の推進	
こどももまんなか社会の実現に向けた取り組み	目指す姿 社会全体で障害や障害のある人への理解を深め、一人ひとり必要な配慮ができるようになるとともに、障害のある人の希望や特性等に応じた多様な働き方が実現できる社会になっている	【主要目標】 ・障害者差別解消法の認知度 ・農業分野で就労する障害のある人等の人数
	○ 障害のある人もない人も安心して暮らすことができる地域づくり ● 障害者差別解消法や県条例の普及及び手話言語条例の制定に向けた検討 ● 障害を理由とする差別や合理的配慮の提供に関する相談体制の整備 ● 農福連携の取り組みの活性化と林業や水産業等の他産業との連携促進 ● 共同受注窓口の体制強化等による工賃水準の向上	
その他多様な主体の参画による「よこ糸」の取り組み	目指す姿 社会全体で子育てを応援する環境と共育てが定着し、「孤」育てを感じさせない社会になっている	【主要目標】 ・安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」ができる社会になっている（再掲） ・男性の育児休業取得率 ・子育て応援アプリDL件数 ・こうち子育て応援の店の登録店舗数 ・子ども食堂の設置箇所数
	○ 住民参加型の子育て支援の推進 ● 共働き・共育ての支援につながるファミリー・サポート・センター事業や育児経験者による敷居の低い相談体制などの拡大 ● 子育て応援アプリの利用者拡大と子育て支援サービスの充実 ● 子育て支援サービスの提供や商品開発など「こどもまんなか社会」を促進する企業向けの支援制度の検討 ● 子ども食堂の立ち上げ・運営に対する助成による取り組みの拡大	
その他多様な主体の参画による「よこ糸」の取り組み	目指す姿 地域の多様な主体の参画と、つながりの再生に向けたネットワークが構築されている	【主要目標】 ・地域の支え合いの力が弱まったと感じる人の割合 ・「高知県における地域の見守り活動に関する協定」締結企業数 ・自主防災組織の活動実施率 ・災害ボランティアセンターの体制強化 ・国民一人ひとりの人権意識が4～5年前に比べて高くなっていると思う人の割合
	● ソーシャルワークの網の目構築プロジェクトの推進 ● 民生委員児童委員の担い手確保に向けた普及啓発等の取り組みの強化 ● 地域見守り協定等の拡大による見守りネットワークの重層化 ● 地域共生社会推進宣言企業や団体によるネットワークの構築と横展開 ● 社会福祉法人等における社会貢献活動の推進 ● 災害時の共助の取り組み強化に向けた自主防災の組織化や、訓練の実施・マニュアルのバージョンアップ等による災害ボランティアセンターの体制強化 ● 人権を尊重し認め合う共生の意識の浸透	

地域づくりに必要な地域資源があり、必要な人材の確保がなされている

オームの構築 の向上 よる介護現場の革新と生産性向上への支援、人材育成・キャリアパス	【主要目標】 ・福祉教育・ボランティア学習における協同実践に取り組む市町村数 ・不足が見込まれる福祉・介護職員の充足率 ・介護事業所のICT導入率 ・認証福祉・介護事業所数
地域共生社会の拠点 試行（再掲）など、幅広く多用途での利用が可能な拠点の整備を促進 ーフティネット制度の普及啓発	【主要目標】 ・あったかふれあいセンターの地域の居場所としての参加人数 ・あったかふれあいセンター「相談」のべ利用回数

とともに、積極的にデジタル技術を活用